

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター  
理事会議事録

1. 開催された日時 平成28年2月9日(火) 9時30分～10時35分
2. 開催された場所 一宮地場産業ファッションデザインセンター 2階第1会議室
3. 総数及び定足数  
総数 10名、定足数6名
4. 出席理事数 7名  
(出席)中野 正康、豊島 半七、末松 泉、渡辺 宣之、大野 紀明、早川 隆雄、高岡 幸郎  
(欠席)澤田 和延、高木 宏昌、冨田 実夫  
(出席監事)木村 正人

5. 議題

決議事項

議案第1号 特定資産(別途積立預金、修繕積立資産、人材育成基金引当資産)の取崩しについて

議案第2号 平成28年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みについて

議案第3号 報告事項(平成27年度事業進捗状況及びFDC運営見直し)について

6. 議事の経過及びその結果

(1) 議長の職務選出

定款第35条により理事長が議長の職務を行う

(2) 定足数の確認等

事務局より、定足数の充足を確認し本会議の成立を宣した。また、定款に基づき議事録署名を出席した中野理事長、木村監事に依頼した。

7. 決議事項

議案第1号 特定資産(別途積立預金、修繕積立資産、人材育成基金引当資産)の取崩しについて

事務局から特定資産の科目の整理を目的として取り崩す旨の説明をした。

修繕積立資産は先期に減価償却引当資産を制定し計上することになり、その必要性が無いため取り崩すこと。また別途積立預金は明確な使用目的が無いこと、修繕費は減価償却引当資産で対応できることや事業の拡大により流動資産が1億円を割っており、取り崩しを行い3P2A事業費として使用すること。人材育成基金引当資産は少額であり事業費の人材育成事業に充当すると説明をした。

特に意見もなく、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

議案第2号 平成28年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みについて

平成28年度事業計画書については参考資料を用いて、平成27年度の事業進捗状況及び平成28年度の新規事業を交えて末松専務理事が詳細に説明した。

収支予算書については事務局から参考資料に基づいて行った。会計区分、運営費・管理費の経費按分の方法と経常収益の部から経常費用の部の各科目の予算金額を詳細に説明した。

資金調達及び設備投資の見込みについては、いずれも予定がないことを説明した。

同議案に対して、

(早川理事)「尾マーク」を良い方向に周知するように。業界内部だけではなく一般消費者へ広く知れ渡るような工夫・方法をお願いしたい。JBブランドと同じ轍は踏まないようにして欲しい。

(事務局)使用規程と統一的な下げ札をFDCで作成するように検討している。また、「尾マーク」グッズの販売やJR尾張一宮駅にポスターを貼るなどPRに力を入れている。戦略的に外部コンサルタントに相談することも考えて

いる。

(大野理事)各事業の実際の成果や評価が分からない。実績数が示されていないがどうか。

(事務局)成果指標はなかなか表現しづらいが、現状は来場者数とか商談の件数は数値で出るが、企業の売上・利益実績の数字までは分からない。FDCとして今後はもう少し分かりやすく成果という形で表されるように考えていきたい。

(大野理事)「尾マーク」はいつ頃からあるのか

(事務局)4年前の産地アピールキャンペーンでの東京ガールズコレクションでシンボルマークとして作成したもので、昨年度FDCで商標登録したもの。

(豊島副理事長)成果という意味では、ヤーン展や東京展での出展希望社数が増え規模も拡大していることから、出展企業にもメリットがあると考えられる。継続性の意義があると思う。

(理事長)展示会やヤーン展のような事業は企業数や来場者数が増え大勢の人が喜んでもらえるので分かりやすいが、受益を受けているものが少ない事業がある。海外販路開拓や尾州匠ものづくりリレー事業で、奨学金一人当たり120万円は多額ではないか。どこの会社でどういうふうか、誰が講師謝金で120万円もらうのかといったところはどうか。

(事務局)特にまだ具体的には決めていない。効率的な予算の運用を心掛けたい。

(高岡理事)奨学金や講師謝金のルールを明確にして行って欲しい。制度自体は良いことと思う。

(理事長)同じ240万を使うなら、対象者を何十人にして貸付する方法もある。二人に絞っている点については何か考えはありますか。

(事務局)まだ、詳細が決まっていないので、今日の意見をもとに決めていきたい。

(理事長)少数の人達がメリットを受けることに業界の人が納得すれば良いが・・・。

(事務局)今回の意見を踏まえて、事業の詳細を詰めていきたい。

(高岡理事)海外展への出展事業費の1200万円の内訳、実績を教えて欲しい。

(豊島副理事長)内訳は27年度事業の進捗状況にある。FDCでは、年2回参加を来年度は1回にして見直しをした。29年度以降は、参加企業の慣れがあるので、その後は個別で出展する企業もあると考えられるので引き続き検討していく方向ですよね。

(事務局)今日から開催している春夏展は参加企業が2社と少ないので、来年度は秋冬展の1回に絞って予算計上した。3年目で成果を出して今後の展開に向けて検討する段階に入った。

(早川理事)もう一回海外展をとの意見が多くの会社から出た場合は来年以降検討に入るのですね。

(事務局)28年度の春夏展も多くの会社から出展希望があれば考えます。

(理事長)たくさんの会社がもう1回出展したいという希望があれば良いと思う。あまり特定の数少ない会社ばかり応援するのはどうかと思うが、もちろん協力企業はたくさんあると思うので、少ない会社でも応援していく合理的な説明が対外的にできれば市としても応援します。

以上審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

### 議案第3号 報告事項(平成27年度事業進捗状況及びFDC運営見直し)について

平成27年度事業進捗状況については、補正予算で承認のあった「NEW尾州」発信プロジェクト with JAPAN SENSESについて三越伊勢丹との取組事業の説明をした。

FDC運営見直しについては、開館32年経過し、現在出捐14市町村のうち7市町村が離脱している点や、各市町村の繊維事業者が少なくなっている状況で、愛知県の方針も次世代産業、自動車や航空機産業へと重点が移っており、FDCの運営、機能を再度見直す必要に迫られていること。また、一宮市からの多大な負担金により成り立っている現状をふまえ、法人運営そのものを見直すための検討を始めることに対して理解と協力をお願いした。

以上をもって議案の審議等を終了したので、10時35分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人は記名押印する。

平成28年2月9日

理事長

中野正康

監事

木村正人